

## 1 総務委員会

公益社団法人として適正な会計処理を行い、予算の執行に努めるとともに、ホームページを刷新し体制整備を行った。また税務諸官庁・税務関係諸団体との連絡協調に努め、「税」に関する活動に軸足を置きながら、事業の充実・拡大を進めてきた。

## 2 税制委員会

法人会の理念に基づき原点である「税制」に関して、会員からの意見を集約し、その意見が税制に反映されるよう地元関係機関に対し要望活動を展開してきた。また、11月には全国で唯一の租税教育用施設であるタックス☆スペース UENO を見学し次世代への租税の意義や役割を正しく理解してもらう様々なカリキュラムを体験学習して来た。

## 3 組織委員会

本年度は会員の恒常的減少に歯止めをかけるため2ヶ月に1度委員会を開催し各ブロックと連携を密にし、全員での新会員獲得運動を行うとともに、9月にビジネス交流会・組織拡大決起大会を開催し、12月には全員参加型の異業種交流会を開催し、最終獲得数116社を達成した。

## 4 事業研修委員会

法人会の基幹事業である税法・税務関係の研修を推し進め、研修内容の充実を図るとともに、地域に密着した公益法人として、一般の皆さまにも参加いただき、参加人員の増加に努めた。また10月には税務関連4団体と共催で『消費税軽減税率説明会のフォローアップ研修会』を開催した。

## 5 広報委員会

本年も年3回会報を発行し、法人会の活動、会員同士の絆、地域情報を提供し、内容の充実につとめるとともに、会員企業の紹介・PRを図るため広告掲載を強化した。また、刷新したホームページを有効活用し税の啓発活動等を推進するとともに、すぎなみ情報、仲間の輪を広げる話題の発信に努めた。

## 6 厚生委員会

法人会の各種共済制度は必要不可欠であり、財政面をも考慮した制度の維持と普及推進を図るとともに、より会員のニーズに即した新企画に努めた。

本年度は、8月3日(木)に「親と子の悠々ホリデーin 東京」を開催し【よみうりランド】  
【萬田農園】を見学。2月7日(水)「日帰り工場視察研修」を開催し【ヤマサ醤油工場】  
【ウオッセ21水産物即売センター】を見学。

## 7 社会貢献委員会

公益法人として社会から信頼を得て、地域に密着した活動の展開が求められており、地域社会への貢献が重要となることを念頭におき、組織力を十分に生かし積極的かつ継続的に社会貢献活動を実施した。恒例の「杉並チャリティまつり」は第19回を迎え2月13日(火)に『座高円寺2』で【卓球トーク】と【落語会】の2部構成で開催し満席の大好評を得た。本公演での収益金172,545円は東京2020組織委員会が募集する『東京2020寄附金』に寄付した。

## 8 青年部会

4月に東法連青連協第4ブロック合同租税教育事業に参加し、6月には本部と連携してチャリティゴルフを開催しチャリティ募金額235,469円を社会福祉法人杉並区社会福祉協議会に寄付をした。9月には本部の『ビジネス交流会・組織拡大決起大会』に参加した。11月には全国青年の集い高知大会に参加し全国にネットワークを広げ情報交換をはかった。また本部事業であるチャリティまつり等に積極的に参加し税の啓発活動や社会貢献活動を積極的に実施した。

## 9 女性部会

4月に第12回法人会全国女性フォーラム鹿児島大会に参加し情報交換をはかった。6月には浜松市へ一泊研修旅行を企画し会員相互の親睦を図った。7月から「税に関する絵はがきコンクール」の準備に入り積極的に推進を行い、最終応募数239通と例年を大幅に上回った。11月には清掃活動のクリーン作戦、納税表彰式に参加3月には東法連女性部会連絡協議会に参加するとともに本部の税の啓発活動や社会貢献活動に積極的に参加した。

## 10 源泉部会

5月に新入社員の研修会『源泉所得税の基礎講座』、10月に秋の定例研修会『源泉のチェックポイント』、11月に『年末調整等説明会』などの研修会を開催し、さらに、一泊研修旅行会を行い会員相互の親善も図るとともに優良な源泉徴収納税義務者として納税意識の向上に努めた。

## 11 酒販部会

4月30日に「吟醸酒 飲み比べ会」を開催し100人近くの会員、地元の皆さまの参加を頂き盛大に開催するとともに、酒税を含めたお酒への理解と飲酒環境の適正化の普及に努めた。